

桐鈴凛々

第133号

2020年9月10日発行

発行責任者

社会福祉法人 桐鈴会

理事長 黒岩秋子

南魚沼市浦佐5142-1

電話 025-780-4118

FAX 025-777-3731

e-mail info@toureikai.com

http://www.toureikai.com/

桐鈴会の理念

・終のすみかを目指す

・「迷惑をかけ合える関係」を目指す

・高齢者、しようがいしゃ、子どもたちが

安心して住める地域を創ろう！



三施設合同バーベキュー大会

グループホームおひさま 生活支援員

星野尚雅



花火を楽しむ利用者

今年からグループホームの職員として活躍している中村和子が発案したバーベキュー企画を7月23日に開催しました。

コロナ騒動で買物や、帰省、イベントの中止など様々な面で楽しみが奪われてしまい、心苦しく思っております。ですが、今回

おひさま・ひまわり・駅前3施設合同での実施に踏み切ることで、利用者に笑顔と思い出を作り、溜まっていたストレスも発散できたのだと思います。

もちろんコロナ対策も、30人規模で行う為、気を付けました。消毒などはもちろん、3施設で開始時間をずらしたり、焼きそばなどの主食を個包装し、誰のモノか分からなくならないようにコップに名前を書くなど、できる範囲で行いました。

利用者も職員も、普段あまり交流のない人達とも接する機会になったと思います。お酒とお肉で盛り上がり、話に花が咲きました、その後の花火で童心に戻って楽しまれました。

我々職員も、国産の美味しい豚や牛、ある人曰く、飲み物のような「ホルモン」を堪能させてもらいました。

お肉を焼き続けてくれた方、材料発注や事前準備、送迎など、たくさんの方に協力をいただき、実施出来た会だと感謝しております。また、このように楽しい企画が出来た事を楽しみにしております。

グループホームおひさま 駅前ハウス 牧野謙司

いまだウイルスの猛威おさまらない状況の中、皆様の協力によって行えた、夏のBBQ！ 美味しいご飯を囲んで楽しく談笑、最後はみんなで花火の饗宴！ 今年の夏はいつもと違う体験を楽しんでもらえたのではないのでしょうか？

沢山のイベントが中止になっていく中、何とか夏の楽しみを利用者へ提供しようとしてくれた職員の方々に拍手を送りたいです！

ケアハウス鈴懸への路 —いらっしやい南魚沼—

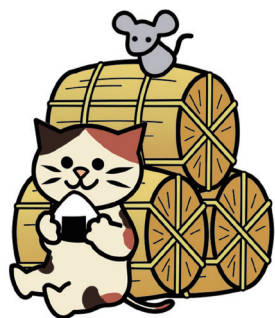
前号からの続き

手塚繁男

2年前の鈴懸訪問時は5月中旬、藤の花真っ盛りの時期で、運よくその花見に参加させて頂きました。その時、バスでお隣の座席になりました年輩の女性から、色々とお話しを伺いました。ですから、私はこちらで、そのお姉さまとお会いするのを、楽しみにしておりました。お会いすると、彼女は2年前の私との会話内容を全て記憶しておられ、感激しました。

勿論、他大半の方々にも優しく声をかけて頂きました。

私の地元（北海道）の方々がお口にしたように「よく思ハ切って遠



「感謝を忘れたくない」

早く過ぎる時間の中
あたたかな人達のことを思う

ようやく夜の苦惱な時が
はやく過ぎてゆく

明日の朝が楽しみで
食事の一時が昨日の孤独を
いやしてゆく

何か会話をするわけでもなくとも
いつものあいさつや世話人さんの
作る愛情たっぷりのご飯を
食べるだけで

今日もガンバルぞと思わせてくれる

いつも頭の中にある思いも
いつのまにか忘れていく

外へ出る前は少しの不安はあるけれど
世話人さんの笑顔で「いらっしやい」と
言われるだけで

気持ち良く良い気分のまま
バイクに乗り作業に行く

いつもこの感謝を忘れず
なるべく環境に甘えず自立できるように
無理しても無理し過ぎず
ガンバって生きようと思う

<詩の提供> 梅沢将大（駅前ハウス入居者）

い所へいらっしやいました」との
お言葉も頂きました。

私は、電気通信の建設会社勤務
で、本社東京から大阪（3年）、
下関（半年）、尾道（1年）、高知
（半年）、福岡（半年）、福井等へ
出張の形で移動しました。

これでは一生、自分の住いが持
てないと思い、北海道へ希望転勤
しました。転勤後も1年の7割程
度は、自宅から通勤できない地方
での職務でした。こうした体験が
あり、私は新潟が遠いところと

は、思っています。

入居後、友人、知人に送った挨拶状に、こんな紹介をしました。

「私に与えられた5階の部屋から風景を眺めると、遠くには雪が残る山系、その手前には、緑濃い山々が連なり、空気が新鮮、広大な緑の公園にも隣接している。この自然を見ていると、身も心も穏やかに幸せです。

新幹線駅まで徒歩で20分、東京までも2時間ですから、日帰りも可能です。

魚沼は、名の知れた雪国ですが、自宅がある大麻と比べると、真冬がひと月半短縮され、その分夏が長くなると思われま

鈴懸の皆さまは、役職の枠を超え、どなたにも配膳の当番があり、職員全員が協力しあって、施設の運営にあたっておられると感じています。

私はこの施設で、有意義な生活を送りたいと願っています。職員・入居者皆さまのご指導を心からお願い致します。

リウマチと闘って40年 〜頑張った妻〜

中澤榮一

「おはよう！」

「今日は〇月〇日〇曜日です。本日も無事に一日が過ごせるように守って下さい。滋舟久容大姉」

こうして、一日が始まります。

妻（久美子）に異変が生じたのは、40数年前、長男、次男が生まれ、家も新築し、先に希望を抱いて毎日を頑張っていたある夜のことでした。急に「寒い寒い」と言い出し、少しすると「暑い暑い」と言い、翌日朝には、平気な顔で勤めに出る、このような事が、



中澤夫妻

2・3日続きました。その後は症状もなく、また何ヵ月もすると同じような状況になり、間隔も短く、関節の痛みも訴えるようになり、診察の結果「リウマチ」であることが判明しました。しかし、有効な治療法もなく、痛み止めを服用し、保育の業務に取り組んでいました。

このような中で次男の喘息が悪化して、小学校への登校が難しくなり、妻と相談し、新大病院にて相談することにしました。長岡料金所で検問に合い、免許証を忘れたことから事情聴取され、その時A警察官から「喘息なら吉田病院が学校も併設しているので、行ってみたら」と言われました。そこで予定を変更し、吉田病院に直行し説明したところ即入院、そして入学の手続きもできました。次男も納得してくれ、一安心と、妻と喜んだことを時々思い出しています。

おかげさまで、次男は中学2年生までこの病院で過ごし、3年から大和中学、六日町高校も無事に卒業できました。

さて、妻の症状は一進一退という状況でしたが、村上の瀬波病院

に「リウマチ」に精通している医師がいるということで訪問したところ、新大病院で診ていただいた羽生先生で、ここから約30年治療していただく事になりました（現在長岡日赤に勤務）。

この病院生活も2年になりましたが、治療とはいかず、両膝・両肘の手術をすすめられました。しかし妻は体に「メス」を入れることを拒み、他の方法を考えることになりました。そうこうしているうちに、大分の病院の冷凍療法がリウマチに効くとの雑誌「フライデー」の記事をみて、妻にとって「救いの神」の気がしたのか、ここでの治療を熱望し、これに賭けることとしました。

電車、飛行機、電車と乗り継いで、ようやく山の内病院に着き、翌日から冷凍療法が開始されました。この病院は1日3回、1回3分マイナス180.Cの部屋で体を動かしながらの療法で、10歳位の子どもから大人まで、外国人の女性も多く治療を受けていました。

入院早々、障害者手帳交付申請をし、2ヶ月後には上下肢不自由2級の手帳が交付されたとのことお知らせに、対応の早さに驚いた次第

です。（本県では当時、症状が進行中とのことで認めてもらえなかった）ただ、冷凍療法は保険適用外で治療費の捻出に苦労しました。

1年8ヶ月の病院での頑張りも妻には効果もなく、むなしく帰るしかありませんでした。

平成7年4月から私が2度目の県庁勤めとなり、初めて妻同伴で赴任し、新潟での生活が始まりました。

私の帰宅が遅くなることも多く、知り合いもなく、精神的に不安定な状態が半年近く続きましたが、新潟には障がい者のサークル・団体も多く、仲間に入れてもらいました。陶芸、生花、パソコン、カラオケ等々の活動をするうちに、すっかり新潟が気に入ったようでした。

この頃から、手術しか方法がないと割り切ったようで、平成9年、新大病院で両膝の手術をし、歩行も比較的楽になったようでした。平成13年3月、私が定年退職した次の職場に再就職、そして平成15年3月退職し、自宅に帰るまでの新潟での生活が、妻にとって一番充実していたように感じています。

次号へつづく

小説

アジサイ日記

夏生と雪子

vol. VI



工房とん利用者

滝沢あけみ

帰省

「どうかしたのですか？」

雪子はベンチにうづくまつている男性に声をかけた。ここは雪子の父が眠る菩提寺であり、連日猛暑が続いているが境内は涼やかな風が吹いている。「ご気分でも悪いのですか？」の声に応じ、その男性がゆつくりと顔を上げた時、雪子は思わず「あっ」と小さく声をあげてしまった。夏生だった。

「ここで君に会えるなんて・・・ね。」と小さく微笑んだ。「先生どうしてここに」「驚くのは当然ですよ。私も驚いています。ここに座りませんか？実は雪子さんに伝えなければならぬことがあるのです。」雪子は小さくうなずいて夏生の隣に腰かけた。

「先日、ご一緒したコーヒーションであなたのお父様のお名前

を聞いて気になっていたのですが、やっと確認できたのです。あなたのお父様は私のA高校時代の恩師でした。中田優先生ですね。

あなたに伝えなくてはと思いがらなかなか会う機会がなく、お盆になったので、同級生に聞いてこのお寺を教えてくださいました。その上、こうしてあなたにも会えるなんて、きつと中田先生のお導きでしょうね。」

「私達家族は父を亡くしてから深い悲しみと淋しさの中で生きてきました。でもこのように父のことを思って、お参りに来て下さる方がいると知って、とても心が暖かくなります。先生本当にありがとうございます。」

雪子は目の前に夏生がいることに戸惑いながら、自分の思いを語った。その時、雪子はささやくような誰かの声を聞いた。それは雪子にしか聞こえない懐かしいような恐いような声だった。

つづく



編集後記

『夢は終わらない、夢は形に』

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、全国高校総体（インターハイ）の中止が決まった。

私はかつて全国高校総体で青春を駆け抜けて来た一人として、中止を突き付けられた多くの学生の喪失感を、痛いほど感じている。

私は陸上競技の槍投げを高校生から始め、2年生の時に国体優勝、3年生の時に全国高校総体で優勝した。今でも試合の時の情景は鮮明で、優勝が決まった時の熱い感動は心に残っている。

しかしそれ以上に、部活での厳しい練習や合宿、仲間とのたわいのない会話、練習帰りの買い食い：そんな日常こそが思い出として強く残っている。

実際、全国高校総体中止という現実を、なかなか受け入れることができないであろう。しかし、3年間積み重ねた忍耐力、諦めない心、責任感、助け合う気持ち、一生の友や先輩後輩：これらは必ず人生の糧となるのだ。

先日、三女（高校1年）の海外

研修が、新型コロナウイルスの影響で中止となった。彼女は高校入学前から楽しみにしていただけにシヨックも大きかった。そんな娘に私は、「人生は永い、ピンチはチャンスだ。焦る事なかれ、夢は形になる。」と伝えた。

私も叶えたい夢いっぱい！形になるまで前進前進だ！

（工房とん 井口節子）



9月

日曜ランチメニュー ¥800 (税込)

フールドリンク付 (コーヒー・紅茶・オレンジジュース)



ライ麦パン
ツナサンド
&
ソフトフランス
コールスロー



ライ麦パン
トマトハム
&
ソフトフランス
コールスロー



リュスティックブール
サムソチーズ
ハムサンド
&
シフォンケーキ



すすカフェ able エイブル

TEL.025-780-4150

11:00

14:00

(ラストオーダー)

火曜〜土曜までのランチメニュー



シーフードピザ
¥500 (税込)



ミートソースパスタ
¥700 (税込)



日替りお惣菜
(Aランチの主菜)
¥200~300 (税込)

コシヒカリ
おにぎり
・手づくり梅
・塩昆布

2個 ¥300 (税込)



全て+¥100でドリンクが付きます

お持ち帰りできます!

桐鈴画廊



作者 野沢 優



作者 富所加代子



作者 井口 陽

桐鈴会よりお知らせ

入場
無料

11/7(土) 2時より

八色の森公園の野外ステージ

クラルテリコーダーカルテットによる

リコーダー四重奏
コンサート



曲目 ・スワニー川 ・七つの子
・ピクニック ・大きな古時計等

メンバーの一人が笹舟のピアノ奏者 志田梨花子さんです

雨天の時には、皆さんもステージに上がって聞いて頂くように致します

鈴懸俳句教室「晩夏」の特選句

鳩群るる空に大きく虹掛けて
草刈って午後は指圧を頼みたる
上村キヌ子

手縫ひして御針娘の盆浴衣
ふるさとの浜辺夕焼コンサート
山田ヒサ子

谷川の流れに和して蟬の声
顔を拭く冷たきタオル岩清水
高野義郎

浦佐節浴衣姿の音頭取
盆踊音頭のマイクテストかな
関 薫司

大夕立八海山を丸洗い
盆泊りコロナを連れて来ないでよ
井上信吉

履き潰すほど夜遊びの祭り下駄
祭り小屋「人魚姫」観る人だから
山岸トヨ

ごはめきも甘き匂ひも祭かな
城崎の夜や湯巡りの宿浴衣
種村道子

刈りし草サイロに深きねむりかな
喪帰りの夏野の匂ひ身に浴びて
関 勝美

なつかしや清水求めし峠道
逝きし君初盆にはまた会えるよな
手塚繁男